

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムの自然

パメラ・ロバーツ

インドの教典はたびたび、精神的な師のアーシュラムについて、生氣にあふれる庭、豊かな野生生物、そして自然のうっとりするような美しさで栄えていると表現しています。すべての命が、その中心に偉大な存在がいることを祝っているようです。なぜでしょうか。アーシュラムの敷地は、グルのシャクティの存在、すなわちすべての生き物にとって有益な、慈悲深く神聖な恩恵と精神的目覚めの力で満たされていることを、教典は明らかにしているのです。

このシリーズの自然の写真のすべては、シッダ・ヨーガのグルであるグルマーイ・チッドヴィラーサーナンダの住まい、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムで撮影されています。毎月毎月、毎年毎年、季節を通して絶えず生まれ流れるシャクティの動きを目撃する機会を、私たちは与えられます。それは、無限の多様性があり、完全で、神秘的な、壮大な自然界として現れます。これらの写真に触れることにより、それらが持ち得る私たちの内側の状態と意識を変容させる力を見つけるかもしれません。

私が初めてそれらの写真を見た時、自分の内側に至福に満ちた穏やかなエネルギーが芽生えるのを感じました。最後の写真を見終えると、じっとしたまま静寂と深い平和の状態ですわっていました。次第に一つの考えが浮かび、私は瞑想の中にいたと気づきました。私はずっと自然を愛してきましたが、自然と共にいることでこのように内側に引き込まれたことは、それまでありませんでした。

この体験を熟考してみると、私はシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムの敷地に浸透するシャクティとつながっていたのだと実感しました。これらの写真は、至高の創造的なエネルギーが

自然の中で現れる時のその戯れを体験するための、一つの方法を私に与えてくれたと理解しました。この理解をきっかけに、これらの写真のこの上ない純粹さと視点を通して自然界を探究することを、定期的に始めました。

どの写真も、私たちを内側へ、自然——そして自分自身の神聖さ——と私たちは一つであると体験できる所へと連れて行くことができます。写真を見るための準備をするたびに、意図を持つこと——例えば、シャクティとつながるという意図など——は、良いことです。私たちが内面に集中する時、私たちの取り組みは、寺院に、自然の神聖な寺院に入るようなものかもしれません。写真を見る前に、呼吸に焦点を当ててマントラを繰り返し、瞑想を始めるのもいいかもしれません。すると、「再生」を押すか写真を1枚ずつスクロールする時、私たちの呼吸とマントラを目の前にある自然の動きに調和させることができます。特定の写真に引き付けられたら、一時停止し、自分自身に、「私はこの写真から、何を学んで人生に取り入れられるか」と問い掛けて熟考することができます。このようにして、精神修行として写真に関わるのです。

定期的に写真を見ることで、私たちは自然界を維持する調和と均衡を観察することができます。そして、私たちは自然に内在する一部分なので、自然の比類のない手本から自分自身の人生に恩恵をもたらす方法を熟考することができます。時間と共に、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムからのこれらの写真を通して自然の神性に没頭することを学ぶことで、この惑星のどこに住んでも、どこへ行っても、私たちは自然に対する自分の体験を変容させることができます。

